

中部支社

NAGOYA

〒460-0013
名古屋市中区上筒井1丁目4番12号
上筒井グランドビル
TEL(052)331-3371 FAX(052)331-3374

中日本ネットワーク

東海・信越・北陸

北信越支局

NIIGATA

〒950-4088
新潟市中央区万代四丁目2番23号
オフィス万代301
TEL(025)244-7600 FAX(025)244-7601



森社長

エムダイヤ

リサイクル機械受注好調

中国輸入 規制強化 雑電線など急増

【滑川】環境機器メーカーのエムダイヤ(本社||富山県滑川市、森弘吉社長)は、リサイクル機械の受注が好調に推移している。中国の資源性廃棄物の輸入規制強化を受け国内で処理する雑電線や家電製品などが急増。リサイクル工場で効率的な解体処理を行える独自開発のエコセパレ分離・破碎機や万能型切断機エコカッターへの引き合いが増加傾向にある。

エコセパレ分離・破碎機は独自の刃物構造による剥離技術で開発したリサイクル機械。タイヤをはじめとする異素材混合のリサイクル資源について金属、ゴム、樹脂などを高精度で破碎・分離し後工程で選別する。日本、米国、中国、韓国の4カ国で特許を持つ。技術革新の都度、追加で特許を取得しているほか商標登録も行っている。最近では雑電線の前処理用途で受注が増えている。2018年度末で中国が雑電線の輸入を禁止した影響で、ナゲットメーカーからの

引き合いが多いという。ナゲット加工の前に雑電線を粗破碎して銅と樹脂を分離する。さらに自動車のドア周りに使用される部品やコピー機のトナーポットの切断用途では、エコセパレ分離・破碎機とエコカッターを連結して使用する事例が増えている。エコカッターは紙か

ら鉄まで幅広い素材に対応する万能型切断機で「エコカッター」は対象物の形状を維持したまま切断できるため有価物を効率的に回収で

きる」と森社長は説明する。最近ではエアコンなどを解体する家電リサイクル工場などからの引き合いが増えているという。